

リアルタイムデータベース構築

日次更新・請求更新・支払更新等を現在も使用していますか？
伝票・帳票類はいつでも発行、または再発行出来ますか？
過去のデータを何時でも見ることが出来ますか？
過去の伝票・帳票類を何時でも発行することが出来ますか？
.....

更新処理を極力少なくし、現状を素早く把握したい

システムをリアルタイムデータベース化すると解決できます。

データは入力された時点で関連ファイルを更新します。何時でも最新の状態で、問合せ・帳票作成が出来ます。入力されたデータは、明細データとして年月日管理され、管理上集計しておく必要が有るデータは、明細を元に集計を行い年月管理します。データは一定期間保存し、必要であれば何時でも取り出す事が出来ます。また、保存期間内であれば、再度集計を行い新たなデータ抽出・分析を行えます。

システムをリアルタイムデータベース化すると

1 最新情報を得、迅速な対応・高次元のシステム構築・運用に繋がります。

リアルタイム処理により、更新処理を待つ事なしにデータが更新され、データベース化と、帳票・問合せの強化により、必要情報を何時でもピンポイントで引き出せます。従来の無駄な帳票は少なくなります。リアルタイム処理の**システムの迅速化は、各人に迅速な対応を要求します**。各人がシステム上の立場を理解しなくては成りません。それは、より迅速な生産・販売に繋がり、より良いシステムへの道標となります。結果、**次元の高いシステムを構築・運用する事に繋がります**。

2 更新の手間・気遣い・失敗から開放、問題追及が明確になります。

リアルタイム処理により、更新処理を行うことが少なく、データベース化により、再更新を可能にしています。従来の更新忘れや二重更新によるデータの破損といった問題から開放されます。更新処理による明細の削除が無いため、問題が発生した時、問題の追及が以前より明確になります。

3 情報を無駄にせず、新たな分析・予測を生み、事業の発展に繋がります。

データベース化により、月次更新後に明細・集計データの一部を削除してしまう事が無くなり、当・翌月に関係なく旧データの抽出が行えます。また、明細が残るため再集計や新帳票・問合せにも対応できます。累積された明細をもとに、季節変動等の新たな分析も可能となります。